

## 農山漁村地域整備計画

|  |
|--|
| <b>計画の名称</b><br>第3次兵庫県森林整備計画(治山事業、盛土緊急対策事業)  |
| <b>計画策定主体</b><br>兵庫県   |
| <b>対象市町村</b><br>神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町(27市11町)  |
| <b>計画の期間</b><br>令和2～6年度(5年間)   |
| <b>計画の目標</b><br><p>本県では、平成29年の台風豪雨、平成30年7月豪雨など、局地的かつ記録的な集中豪雨により、多様かつ大規模な山地災害が頻発している。また将来起こりうる南海トラフ巨大地震など、多様な自然災害にも備え、被害を最小限に抑えられるよう、航空レーザー測量などの最新技術を活用しつつ、減災防災対策を進める必要がある。</p> <p>このため、未整備の山地災害危険地区の総点検を実施し、災害発生時に人家等への影響が大きい箇所や谷筋にスギ・ヒノキ人工林が植林され、流木災害の発生の恐れの高い箇所を対象に、五ヶ年で678箇所の治山ダム整備や水土保持機能が低下した谷筋保安林の本数調整伐を進め、流木・土砂流出防止対策を図るとともに、活断層が密集する六甲山系や山崎断層等の周辺斜面において、阪神・淡路大震災を契機に本県が開発した「地震に強い斜面工法:ロープネット・ロックボルト併用工法」により斜面崩壊防止対策を図る。</p> <p>また、平成25年度に実施した治山施設の総点検結果を踏まえ、「インフラ長寿命化計画」を策定し、緊急かつ重要性の高い箇所から計画的に補修、強化等の老朽化対策を図る。</p> <p>さらに、令和3年度に実施した林地開発及び保安林制度に係る「盛土による災害防止のための総点検」において、何らかの不備や不具合が生じた盛土で、現地状況が把握できていない箇所について、緊急的な対策として盛土緊急対策事業(安全性把握調査)を実施する。</p> |
| <b>定量的指標</b><br>山地災害危険地区 9,072箇所のうち、着手箇所数 3,482箇所(R1年度末) ⇒ 3,672箇所(R6年度末)<br><br>盛土による災害防止のための総点検で必要となった林地開発許可制度に係る緊急対策の着手0箇所(R3年度) ⇒ 1箇所(R3年度)  |
| <b>対象事業</b><br>別紙のとおり  |